

令和元年度感染管理スキルアップ研修会がスタート

研修会は5月から10月まで行われます。医療施設で感染管理を担う看護職27名が受講。初日は講義・演習(GW)を行いました。



事業責任者
宮崎県立看護大学
栗原保子 先生

本研修会は、宮崎県内の安全な医療の実現のために感染管理に関するより専門的な知識及び技術を修得しチームリーダーとして多職種と連携し、所属施設の医療関連感染の予防と管理に貢献できる人材を育成することを目的として実施しています。本年度は、**6回目**(6年目)の開催となります。

5~6月

講義・演習

7~9月

所属施設での
実践

10月

実践発表会

11月

最終報告書

2020年1月

修了証書

※ 本年度の応募は終了しています。

講義

最新の感染症の動向や知見について、根拠を踏まえて学修しています。県内で活躍する医師や感染管理認定看護師、学内講師が講義を行います。

本プログラムは、計6回(6日)で実施し、講義・演習は、「感染症対策の基本」「微生物概論」「洗浄・消毒・滅菌」「標準・感染経路予防策(技術演習)」「医療器具関連感染予防策」「職業感染予防策」などで構成され、実践モデルとしての実践技術を再修得できるなど、所属施設での実践や指導に活かせる内容となっています。

6月は、所属施設の課題計画書作成に取り組めます。(第2報で報告)

初日(5月16日)、受講者からは、日頃の疑問などを解決しようと、多くの質問がありました。

講師の先生からは、根拠に基づいた確かなご助言をいただきました。



宮崎市保健所 所長
西田敏秀 先生

医療法人誠和会 和田病院
感染管理認定看護師
児玉崇 先生



宮崎県立看護大学
邊木園幸 先生

演習：グループワーク



取組んでいる点

ICT活動が組織的にできている。
教育体制やマニュアルが整備できている。
手指衛生の遵守に向け手指消毒剤を携帯するようになった。 など

しかし……実践上の難しさも実感……

習慣化した(必要のない)対策を改善すること、多職種の理解を得ること、感染対策に必要な経費の交渉……など

今後のプログラムでは、所属施設の感染管理の質向上に向けて改善点を抽出し、看護の専門性を発揮しながらどのように課題に取り組むか検討していきます。

アンケートより

- ・わかりやすい講義内容だった。・直ぐに実践に活かせる資料やデータを提供していただけた。・研修内容を自分の知識と力にしたい。
- ・グループワークは抱えている悩みや疑問を共有する場になり有意義だった。・他施設の感染対策の取組みを知ることができ参考になった。
- ・課題や悩みは共通していると感じた。・施設の改善に活かしたい。・多職種と連携し感染防止に努めたい。 など

～講義・技術演習～
第2報で報告!!

多くのご意見ありがとうございました。